

令和6年(2024年)7月18日(木曜日)

富士登山鉄道「中止を」

三島のNPO署名活動開始

三島のNPO法人グラウンドワーク三島は、山梨県で計画される「富士山登山鉄道」の中止を求める署名活動を始めた。秋ごろの静岡県内組織設立に向けて準備を進める。渡辺豊博専務理事は「県内では情報が少なく、ひとことになっている。富士山は一つ。静岡でも危機意識を持ってほしい」と訴える。

同鉄道の構想は次世代型路面電車(LRT)を富士スバルラインに整備し、山梨県側の富士山麓と吉田口5合目を結ぶ計画。オーバートリプルの解消や環境負荷の軽減などを図る。5合目の開発も進め、冬場も行き来できるようにするとしている。

GW三島は富士山が抱える課題の解消の必要性を認識する一方、噴火や雪崩といった災害対策、電動バスとの有効性の比較検討、敷設工事による環境破壊などの不確かさを指摘する。スラッシュ雪崩による通行止めが年数回発生する富士スバルラインでの通年運行の安全性、信仰の対象として世界文化遺産登録された富士山の冬山に入らないという信仰との整合性も問題視する。

山梨県内では今年4月、北口本宮富士浅間神社や富士五湖観光連盟の関係者が富士山登山鉄道に反対する会を設立した。GW三島は県内で富士山の保護活動に取り組む団体にも呼びか

け、問題意識を共有しているといい、渡辺専務理事は「美しい富士山を後世に引き継ぎたい。県内で動きが広がれば、県外にも働きかけ、国民運動として広めた」と話す。